

# 岐阜農林事務所の普及活動状況

平成29年12月31日現在

## 今月の重点活動

### ■GAP GAP推進担当者会議開催

12月15日、OKBふれあい会館において、農業普及課主催により、JA等関係機関の担当者が参集し、GAP推進会議を開催した。

会議では、県GAP施行を踏まえ、管内における推進方針について意見交換し、考え方を共有するとともに、共販組織が取組む場合の課題明確化のため、団体管理基準及び施設管理基準について、約80の項目ごとに検討した。その結果、多くの項目では現在の取組みで充足されるものの、現状確認を要する項目や、更に検討すべき項目も2割ほどあることが分かった。

今後は、各関係機関において検討・整理のうえ、年明けに課題解決に向け議論を更に深めていくことを確認した。  
(園芸産地支援第一係・高橋幸蔵、三和浩一、川部 知)



【意見交換の様子】

## 新たなブランドづくり

### ■にんじん 各務原市産冬にんじんの出荷終了

12月22日に、本年度から稼働している共同選果場を利用した冬にんじんの出荷が終了した。今年8月は雨がが多く、種まきに苦労したものの、生産者の意欲は高く、栽培面積は約2割増加した。

また、12月15日には、生産者の意欲に応えるべく、関係機関が参集し、来年度の産地支援計画について検討した。新たな取り組みとして、小学生親子を対象とするにんじん収穫体験、東海学院大学監修による乳幼児・子供・成人・高齢者の世代別にんじん料理のレシピ製作などを計画している。

農業普及課では、今後、新品種や肥料資材などの調査結果について情報提供し、産地の課題解決に向けて支援を行うこととしている。  
(地域支援第二係・魚住雅信)



【調査するJA全農職員】

## 売れるブランドづくり

### ■水稲 平成30年産水稲栽培暦研修会開催

12月8日に、JAぎふアグリパークにおいて、JAぎふ(米穀課及び各支店担当者)、JA全農岐阜、農業普及課の水稲指導関係者が出席し、平成30年産水稲栽培暦研修会を開催した。

農業普及課から、JAぎふ各支店の担当者に対して、平成29年産の農薬や肥料の展示ほ結果を踏まえ、平成30年産栽培暦の変更点やポイントについて説明した。主な変更点は、ヒメミノハギ対策のための初中期一発除草剤の追加、銘柄集約に伴う肥料の変更である。

今後は、各地域でJA担当者から農業者への水稲栽培暦説明会が開催され、水稲の安定生産に向けた情報共有が図られる予定である。  
(地域支援第一係・小島康平)



【研修会の様子】

### ■祝だいこん 出荷目揃会開催

12月18日、JAぎふ則武支店において、祝だいこんの出荷目揃会が開催された。

今年は、は種期以降の天候不良等により、例年より生育が遅延している中での出荷始めとなった。消費者や市場のニーズは、従来の3本束から2本束、バラなどの少量購入に変化してきていることもあり、今年産は原則バラ出荷となった。今年産の出荷は昨年を下回る約55万本と見込まれている。



【目揃会の様子】

農業普及課からは、今年の気象経過、生育調査結果の概要を情報提供と選別基準・出荷規格の遵守などについて指導を行った。

祝だいこんは、12月21日～28日までの期間限定で大阪市場に出荷され、関西のお正月には欠かせないお雑煮の具材として使用される。  
(園芸産地支援第一係・高橋幸蔵)

### ■いちご 岐阜市産いちごPR試食会実施

12月16日、岐阜市内の量販店において、JAぎふ岐阜市いちご部会青年部が、岐阜市産いちご「濃姫・美濃娘・華かがり」のPR試食会を開催した。

来店した消費者に、各品種1粒ずつ試食してもらい、どれが好みかを問う方式で行い、試食した約200人のうち、「美濃娘」を好む消費者が約5割と一番多く、「華かがり」も2.5割の方が好みと答えていた。また、試食した消費者の多くから、「華かがりといういちごを初めて知った」との意見が聞かれ、岐阜いちごの認知度向上にも繋がった。

試食会は、来年1月にも予定しており、農業普及課では関係機関と連携し、岐阜いちごのPR活動を支援していく予定である。  
(園芸産地支援第一係・三和浩一)



【いちごPRの様子】

### ■アスパラガス 第2回学校給食検討会開催

12月18日、羽島市北部給食センターにおいて、学校給食への地元農産物の供給に関する検討会が開催された。

今年度2回目となる検討会には、羽島市、栄養士、JA、納入業者、農業普及課が集まり、7月に実施したアスパラガスの供給についての反省を踏まえ、次年度の取り組みについて検討を行った。

アスパラガスについては、春芽の使用も検討されたが、出荷量が安定する時期が春休み頃となるため、今年度については見合わせる事となった。

来年度については、羽島市産アスパラガス（夏芽）と野菜を使用した「羽島の夏野菜カレー」で再度検討することとした。  
(園芸産地支援第一係・松浦香絵)



【検討会の様子】

### ■加工・業務用キャベツ 収穫開始

12月5日、山県市内において、(農)桜尾生産組合が20aの加工・業務用キャベツを収穫した。

昨年より生育・品質ともに向上しており、次年度は作付面積を増やすことを検討している。

収穫・出荷終了後には、今作の反省と次年度の栽培管理の改善点を検討し、一層の品質向上と出荷量の増加に向けた支援を行う。



【コンテナ詰めの様子】  
(地域支援第三係・宮木英有)

## 住みよい農村づくり

### ■いちご、祝だいこん 現場見学ツアーで普及事業PR実施

12月25日、岐阜市のいちご及び祝だいこんの生産ほ場において、平成29年度岐阜県技術職員「清流の国ぎふ」現場見学ツアーが開催され、岐阜県の技術職員の仕事に興味、関心を持つ学生9名が参加した。

農業普及課では、普及指導員の現地支援の状況や農業後継者の課題等を説明した後、ほ場を案内した。参加者からは、「高設栽培と露地栽培の初期費用は?」「農家との接し方は?」「病気を見分ける方法は?」「ミツバチの管理方法は?」などの質問があり、普及活動の一端を理解してもらった。  
(園芸産地支援第一係・高橋幸蔵、三和浩一)



【普及業務の説明】